

地域包括支援センター名称	日時	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討内容
練馬ゆめの木	H30.12.18	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、高齢者食事サービス事業者、介護サービス事業所、生活支援員、郵便局、コンビニエンスストア、行政職員	63人	【テーマ】 地域からの報告 ~ご高齢者の日常生活の中から~ 【目的】 地域で暮らす高齢者の生活状況を把握し、地域支援の今後について考え、ネットワーク構築を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域でもお互いのことがわからない。情報共有していくことは大切」「自分たちが色々なサービスを知り、それぞれの高齢者に合うものを紹介できるようになると良い」などの意見があった。 ・地域に暮らす高齢者の生活状況や、地域における支援や見守りなど、地域の支援者について知ることができた。
高野台	H31.3.1	民生委員、町会・自治会、介護サービス事業所、見守り訪問員	43人	【テーマ】 災害時(地震)の応急処置について 【目的】 身近なものでの応急処置や地域の防災の課題について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署より災害時の応急処置等について話があり、三角巾の使い方や止血・骨折・移動の仕方が理解できた。 ・災害時には、自助・共助が大切なため、応急処置の発想の転換が必要なことを理解していただいた。 ・人とのつながりが希薄になっている高齢者に、自助・共助をどう伝えていくか、情報を得られにくい人たちにどう伝えるかなどの課題が抽出された。
石神井	H31.1.17	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、コンビニエンスストア、介護サービス事業者、訪問支援協力員	20人	【テーマ】 地域で取り組む防災対策 【目的】 災害時における自助や共助の重要性や福祉避難所について理解を深めるとともに、体験学習を通して実際に活用できる知識や技術を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自助ができて初めて共助ができることを改めて学んだ」などの意見があった。 ・自分が被災者の立場になったときに、どのような行動をとるのかについて考え、それぞれの意見を出し合い議論することができた。
フローラ石神井公園	H31.2.15	民生委員、町会・自治会、介護サービス事業者、見守り訪問員、配食サービス事業者、ケアマネジャー	43人	【テーマ】 「N-impro」(ニンプロ)とは何か 【目的】 N-improのゲームを利用してそれぞれが学び、つながり、考える。ゲームを通じて各事業所や地域住民をつなげ、顔の見える関係をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「窓口での接客対応について、こんな対応方法があるんだなど、目からうろこの話を聞くことができて勉強になった。」などの意見があった。 ・地域の7か所のコンビニを訪問して、会議には出られなかったが「気になる高齢者」が来ることがあり、相談場所としてセンターを紹介することができた。
第二光陽苑	H31.2.8	民生委員、町会・自治会、東京都住宅供給公社、警察署、配食サービス事業所、介護サービス事業所	30人	【テーマ】 高齢になっても暮らしやすい地域づくりについて ~私は高齢になっても関町北4丁目のこの地域で暮らしたい~ 【目的】 地域課題の発見。地域課題を共有し、解決に向けた検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催にあたって、事前に担当地域の居宅介護支援事業所の介護支援専門員に参画してもらい、準備会を開催した。 ・地域の関係者と会議を開催することで、顔の見える関係が構築できた。また、様々な意見を聞くことができ、関町北4丁目地域の社会資源を知ることができた。
関町	H30.11.29	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、ボランティア団体、医療機関、薬局、介護サービス事業所、介護保険施設	44人	【テーマ】 私は認知症でもここで暮らしたい 【目的】 認知症について「自分がなった時どう過ごしたいか」「自分がこの町で暮らすためには何が必要か」当事者の視点でこの地域について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「支援者としても地域住民としても支え合える街づくりにもっと関心を持たなければと思った。」など意見があった。 ・地域包括支援センターとして、この地域に必要な社会資源について参加者の意見を聞くことにより、今後の地域づくりの参考になった。
上石神井	H30.11.20	民生委員、町会・自治会、保健相談所、コンビニエンスストア、見守り訪問員、薬局、介護サービス事業所、介護保険施設	34人	【テーマ】 大規模災害時における要援護高齢者への対応について 【目的】 大規模災害時において、支援が必要な高齢者をどのように避難誘導するか、関係者の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災については非常に関心が高く、不安を感じていることがよく分かった。 ・練馬区の防災に関する全般的な状況が理解できたので、次回は災害時のそれぞれの対応や動き方について理解を深めたい。